



オンラインによる面接



5.6.11 奨学生面接



5.5.17理事会



5.6.15評議員会



5.8.1 研究助成選考委員会

KIZUNA vol.32

contents

- ② 卒業生一覧
- ② 採用状況
- ② 奨学生ナウ!Now!今!
- ② 選考委員会
- ③ 新奨学生紹介
- ④ 研究助成一覧
- ④ 役員会・役員一覧

時間を無駄にしない習慣



京成電鉄株式会社相談役
公益財団法人
戸田育英財団評議員

花田 力

私は千葉県出身で、地元の企業である京成電鉄に入社しました。京成電鉄の社名は、起終点である東京の「京」と成田の「成」に由来します。社長在任中は、成田空港への新ルート(成田スカイアクセス)開業に取り組み、開業後は京成スカイライナーが国内在来線最速の160km/hで走行し、都心(日暮里駅)と成田空港(空港第2ビル駅)を最速36分(15分短縮)で結びました。

京成電鉄と戸田建設のつながりは、1959年当時の戸田組が最初に手掛けた地下鉄工事(押上駅～京成曳舟駅間)を皮切りに、千葉中央駅に1961年に開業した千葉京成ホテル(現在は京成ホテルミラマーレ)、当社沿線のマンションや商業施設に加え、藤ヶ谷カントリークラブや佐倉カントリー倶楽部におけるクラブハウスも戸田建設の施工であり、京成グループの様々な分野に及んでいます。

私は企業人として、経営判断を色々行ってきましたが、今振り返ると、学生時代は人間の基礎を創る大切なトキであったと考えております。私の学生時代には、「時間を無駄にしない、何でもあれ充実した時を過ごすこと」を意識して過ごしました。皆さんも「時間を無駄にしない習慣」を心掛けては如何でしょうか。例えば、一定の時間に勉強し、休日にも趣味を作り、意識的に行動します。そうすることで、さらに自分の目、感覚・感性を磨くことができるようになると思います。

皆さんのこれから一層の活躍を心から祈念しています。

2023今春卒業された奨学生の皆さんの進路

今後のご活躍をお祈りします!

ホームページに「奨学生に贈る言葉」を掲載しています。

進路

進学 北海道大学大学院 東京大学大学院 早稲田大学大学院 京都大学大学院	医療 川崎市立多摩病院
官庁 厚生労働省 国立研究開発法人情報通信研究機構 山梨県庁 新宮市役所	サービス・総合人材サービス 名鉄観光サービス株式会社 アデコ株式会社 出光リテール販売株式会社
メーカー 日本電気株式会社 株式会社ヤクルト本社	学校 学校法人横須賀学院
金融 株式会社福岡銀行	ゼネコン 戸田建設株式会社 清水建設株式会社
	IT関連・コンサル 日本タタ・コンサルタンシー・サービス株式会社

卒業生名簿

氏名	学校名	氏名	学校名
高橋 悠介	北海道大学	小川 悠真	立教大学
大塚 悠介	青山学院大学	佐藤 悠真	早稲田大学
佐藤 悠真	慶應義塾大学大学院	五十嵐 悠真	早稲田大学
高橋 悠真	芝浦工業大学	佐藤 悠真	早稲田大学大学院
小川 悠真	芝浦工業大学	西村 悠真	同志社大学
高橋 悠真	聖マリアンナ医科大学	上野 悠真	京都大学
高橋 悠真	東洋大学	佐藤 悠真	横浜国立大学
高橋 悠真	東洋大学	小川 悠真	和歌山県立医科大学
高橋 悠真	明治大学	高橋 悠真	愛知大学
高橋 悠真	立教大学	高橋 悠真	京都産業大学

採用状況

奨学生採用人数の推移

	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
大学院生	3	9	2	7
大学生	19	22	23	20
採用計	22	31	25	27
奨学生総数	90	89	93	91

2023年度 奨学生採用校一覧表 (順不同)

青山学院大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	東海大学	聖マリアンナ医科大学
東京大学	東京音楽大学	東洋大学	明治大学	立教大学
早稲田大学	同志社大学	立命館大学	京都大学	筑波大学
中央大学	龍谷大学	福井県立大学		

奨学生選考委員会

オンラインによる面接を実施しました。

(第1次)課題作文①30代からの夢 ②6つの言葉から2つ以上を選択し記述。(第2次)グループ面接・全体でのディスカッション

面接日:令和5年6月11日 大学生19名、大学院生3名 計22名の採用が決定しました。

奨学生! ナウ! Now! 今!

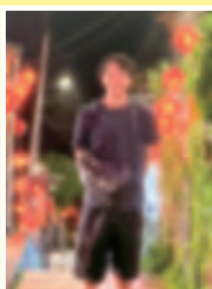
自動運転技術の研究

慶應義塾大学 大学院政策メディア研究科2年

戸田育英財団奨学生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。私は現在大学院で、自動運転技術に必要な自分の車の位置を推定する研究を行っています。研究では、主に車が参照する地図情報の作成と、位置を推定するためのアルゴリズム開発を中心に取り組んでいます。苦勞も多いですが、没頭し時間を忘れる時もあるぐらい熱中して取り組んでいます。私は元々乗り物が好きということもあり、それが研究の大きなモチベーションになっているのだと感じています。

そんな私の研究生生活ですが、“切り替え”も大事にしています。例えば、最近は旅行をしたり、読書を始めたりなど、デジタルデトックスの時間を設け、気持ちの“切り替え”をしています。こうした意識も、研究を安定的に継続するコツだと思い、大事にしています(写真は今年の夏に台湾へ旅行をしたときの写真です)。

学生生活も残りわずかとなりましたが、研究活動をはじめ悔いのない学生生活になるよう、引き続き精進してまいります。



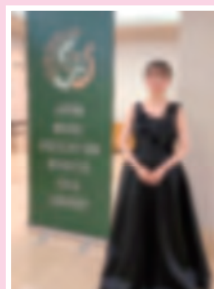
素晴らしいピアノ曲に出会える喜び

東京音楽大学 音楽学部音楽学科3年

戸田育英財団奨学生の皆様いかがお過ごしでしょうか。

私は大学で多くの事を学びながら、日々ピアノの演奏の技術や表現力を高めるべく練習を重ねています。曲のレパートリーも増え、素晴らしいピアノ曲に出会えることに喜びを感じながら頑張っています。音楽の世界は奥が深く、曲の解釈や表現の仕方は人それぞれ異なるため、練習やその評価などにおいて難しさも感じています。曲に対する自分の考えをしっかりと持てるように、努力を積み重ねて一步一步研鑽を積んでいきたいと考えています。

大学生生活も残り1年半となり、進路についても考えなければなりません。今年度前半は学内演奏会、入賞者記念コンサートに出演し、ピアノコンクールでは全国大会に出場することもできました。後半ではピアノソロだけでなく協奏曲にも挑戦しながら、前半で感じた自分の欠点を改善できるように精進していきたいと思っています。





	氏名	学校・学部・専攻	年
1		青山学院大学 社会情報学部社会情報学科	1
		社会情報関連職種のエキスパートとして、民間企業でエキスパートとして携わっています。	
2		慶應義塾大学 法学部法律学科	1
		司法試験に合格し、米国弁護士資格を取りたい。将来は弁護士から県知事に出馬したい。	
3		芝浦工業大学 システム理工学部数理科学科	1
		ITコンサルタントの職業を通して、社会の問題の解決につながる仕事をする予定です。	
4		聖マリアンナ医科大学 医学部	2
		フライトドクターとして一人前になること、海外で臨床留学をし鑑別診断を学びたい。	
5		東海大学 建築都市学部建築学科	1
		人と地域をつなげる建物を造ることです。何十年も愛される建物をつくるのが重要です。	
6		東京大学 教養学部文科二類	1
		誰もが幸せを感じられる社会の実現にグローバルに貢献していくことです。	
7		東京音楽大学 音楽学部声楽芸術コース	2
		ドイツの歌劇場で専属歌手として活躍することです。第一歩は卒業後のドイツ留学です。	
8		東洋大学 経営学部会計ファイナンス学科	2
		国税専門官の仕事に就き、信頼される職員になり国税局、税務署に勤務し調査や相談を行う。	
9		明治大学 政治経済学部経済学科	2
		公認会計士に合格し、監査法人で経験を積み独立する。寄付、活動で社会に貢献することです。	
10		立教大学 コミュニティ福祉学部	1
		体育会野球部の一員ですが、教員免許を取得し少年野球から高校野球に関与したい。	
11		早稲田大学 法学部	1
		母子家庭等の理由で、満足な教育を受けられない子供たちを救うという夢があります。	

	氏名	学校・学部・専攻	年
12		早稲田大学 スポーツ科学部	1
		プロ野球で活躍すること、生まれた沖縄で地域の野球チームで子供たちの指導に携わりたい。	
13		同志社大学 生命医科学部医情報学科	1
		就職先の企業で部署のトップになり、専門分野で卓越した業績を上げることです。	
14		立命館大学 理工学部ロボティクス学科	2
		社会から求められる人材になることです。50代までに達成しその後は後続の育成に努めます。	
15		京都大学 教育学部教育科学科	1
		文部科学省に勤めたい。小説現代長編新人賞を受賞しましたが、今後も書き続けたいと思います。	
16		筑波大学 理工学部社会工学科	2
		十年で多くの事柄が変化するのは明らかで、故郷沖縄の都市計画を考え、携わることです。	
17		中央大学 経済学部経済学科	1
		祖父が商工会の役員、市議員をしていたので国や地域の人に貢献できる人になることです。	
18		龍谷大学 法学部法律学科	2
		知識と経験を活かし仕事に励み、結婚をし自分の判断による結果を受け止めて過ごす事です。	
19		福井県立大学 生物資源学部創造農学科	2
		福井県で農業環境の改善の取り組みを実現する。加えて海外で日本と違う農業技術を学ぶ事。	
20		東京大学 大学院 工学系研究科宇宙工学専攻	院1
		宇宙産業の発展に寄与し、社会に貢献することです。H3を応援する声が高く、応えてみたい。	
21		早稲田大学 大学院 創造理工学研究科建設工学専攻	院1
		中国地方でランドスケープ設計を中心とした街づくりに携わり、生まれ育った町に貢献したい。	
22		京都大学 大学院 工学研究科社会基盤工学専攻	院1
		一つ目は技術者として社会に貢献すること、二つ目は家庭を築き、良き親になることです。	



研究報告書・研究助成選考委員会

2022年度の研究報告書第10号を発刊しました。その表紙です。戸田育英財団では大学における建築学・土木工学に関する研究への助成を行うことによって学術研究の発展に寄与することを目的としています。2022年度は8課題、2023年度は8月1日に選考委員会を開催し12課題に研究助成金が決定されました。

研究報告書

2023年度 研究助成金 一覧表

1	芝浦工業大学	建築学部	建築学科	准教授	小柏 典華	滋賀院門跡における現存遺跡の建築史的価値評価
2	芝浦工業大学	工学部	土木工学科	教 授	谷田川ルミ	南海トラフ地震の脅威にさらされる地域における災害時の多世代間共助体制の構築・住民間のソーシャル・キャピタルに着目して
3	東海大学	建築都市学部	建築学科	教 授	岩崎 克也	人の活動を空間デザインに置換するための研究
4	東海大学	建築都市学部	土木工学科	教 授	虎谷 充浩	複数の衛星データを組み合わせた水害状況把握の研究
5	東京大学	大学院工学系研究科	建築学専攻	教 授	山田 哲	鋼材の繰返し変形性能に及ぼす、載荷条件の影響
6	東京理科大学	創域理工学部	社会基盤工学科	准教授	柳沼 秀樹	街路空間の景観特性と歩行者の経路選択特性の両者を融合した定量的な評価モデルを構築する
7	日本大学	理工学部	土木工学科	准教授	長谷部 寛	ハニカムパネルの橋梁ウェブ材への適用性と座屈強度の研究
8	早稲田大学	理工学術院	創造理工学部 建築学科	教 授	宮本 佳明	建築展におけるホワイトキューブ・ミュージアムを超える展示方法についての研究 ～宝塚市立文化芸術センター「宮本佳明展」をめぐる～
9	早稲田大学	理工学術院	創造理工学部 社会環境工学科	准教授	三上 貴仁	相模湾沿岸における台風に伴う沿岸災害履歴調査と分析
10	京都大学	大学院工学研究科	都市社会工学専攻	准教授	安 琳	低炭素GPコンクリートの固化反応メカニズムに関する基礎的な研究
11	京都大学	防災研究所		教 授	牧 紀男	災害時の病院の事業継続性の定量評価手法の開発
12	立命館大学	産業社会学部		准教授	富永 京子	郊外における若者移住者の空き家再利用による都市コミュニティ形成に関する研究

理事会

決議日:令和5年5月17日(第1回)

議案:①令和4年度決算報告・事業報告の件 ②評議員会議案の件 ③職務報告

決議日:同年6月15日(第2回)文書決議

議案:理事長・副理事長・常務理事・業務執行理事・代表理事選任の件

評議員会

決議日:令和5年6月15日

議案:①決算報告 ②事業報告
③理事9名選任 ④監事2名選任
⑤評議員9名選任 ⑥名誉顧問1名選任の件

役員一覧

(順不同・敬称略)

理事	役職等
戸田 博子	理事長
岡 敏朗	副理事長
齋藤 佳郎	常務理事
秋葉 邦彦	業務執行理事
明石 勝也	
畔柳 信雄	
田中 俊六	
白井 克彦	
高松 勝	

監事	役職等
原田 正周	
小山 慶子(戸田育英財団 OG)	

評議員

三宅 占二	麒麟ホールディングス名誉相談役
富家 孝	ラ・クリイマ代表取締役、医師・ジャーナリスト
花田 力	京成電鉄相談役
土屋 裕	エーザイ相談役
久保庭啓一郎	日本経済新聞社社員
大久保 勉	元東京海上火災保険常務取締役
西谷 章	早稲田大学名誉教授
太田 哲夫	元戸田建設執行役員人事部長
羽田 正沖	戸田建設イノベーション戦略部長・大一殖産取締役

選考委員

秋草 史幸	奨学生選考委員長	元三菱UFJモルガンスタンレー証券社長
加藤 典子	奨学生選考委員	日本女子大学非常勤講師
大野 仁子	奨学生選考委員	司法書士
千葉 脩	研究助成選考委員長	元戸田建設技術研究所長
田中 俊六	研究助成選考委員	東海大学名誉教授・戸田育英財団理事
宗 長久	研究助成選考委員	元戸田道路社長
岡 敏朗	選考委員	戸田育英財団副理事長

事務局だより

猛暑の続いた夏が終わり、過ごしやすい秋になってまいりました。

今年の大きな出来事といえば、コロナウイルスが5類感染症に移行されたことかと思ひます。この機会に、私も久しぶりに旅行に行きました。人生で初めて仙台と松島を訪れたのですが、伊達政宗公に関する資料館や寺院が多くあり、これまで教科書上でしかとらえていなかった物事を、実際に目で見ること、リアルな経験に変換できたことを感じました。

今は、携帯さえあれば、何処でも何でも調べられますが、やはり実際に自分の五感で感じることは大切です。奨学生の皆さまも、貴重な学生期間は、実際に目や耳で様々な経験を積んでいただければと思います。

(永富)

